

ほのぼの

発行 令和7年(2025)12月15日
 責任者 会長 堀 口 春 記
 (天満町自治会長)
 事務局 北諫早小学校区社会福祉協議会
 (天満町公民館内)
 住 所 天満町34-7 ☎22-5097

北小校区町内・自治会

年末年始の主なイベント紹介

町 名	イベント名	期 日	時 間	場 所	連絡先	
福 田	新春 マラソン大会	1/11 (日)	8 時～	福田神社 (スタート・ゴール)	公民館：23-7254 (会長) 古川利光	
泉	子ども会 餅つき	12/28 (日)	10 時～	公民館	公民館：22-5209 (会長) 原 口 勲	
金 谷	餅つき	12/21 (日)	10 時～	公民館	各班長 (会長) 山口康成	
日の出	門松づくり	12/28 (日)	9 時～	公民館駐車場	公民館：22-5488 (会長) 平 野 博	
	鬼火焚き	1/11 (日)	9 時～	日の出町公園 (公民館横)		
城 見	もぐら打ち	1/11 (日)	9 時～	町内一円	公民館：23-0265 (会長) 宮 崎 守	
天 満	鬼火焚き	1/11 (日)	11 時～	本明川河川敷 (ボーリング場前)	公民館：22-5097 (会長) 堀 口 春 記	



お世話になります!民生委員・児童委員のみなさんです

11月29日(土)諫早文化会館で、諫早市内の民生・児童委員さん(約300人)に、厚生労働大臣からの委嘱状が、大久保市長から伝達されました。

委員のみなさんはボランティアで活動いただいております、これからの少子化、高齢化社会が進む中、みなさんの活動が、ますます重要視されています。

また福祉関係の実情を把握・調査いたくなど、必要に応じ行政とのパイプ役などをお願いしています。

● 就任されました皆様 (再任を含む)

	福 田 町	泉 町	金 谷 町	日の出町	城 見 町	天 満 町
民生委員	田崎みづ子	松尾一則	松平哲也	尾下美保子	稲永法子	筒井恵子
	熊野光治	金子和美子	増口眞知子	柴田明	中多政子	池田満夫
児童委員	松永隆志	門脇直子		平野美恵子		橋本和之
	山田秀夫					小森祐子
	原口大和					
	松浦和					
(主任児童委員)	古川勇介					

● 退任されました皆様

民生委員	堀 昌子・草野俊子・市丸順子
児童委員	井手妙子・浦浜千代子・渡邊國一
(主任児童委員)	松下清香

第41回

北諫早小学校区 一人暮らし高齢者の集い 笑顔いっぱい「お楽しみ会」を開催！



晴天に恵まれた10月16日（木）福田公民館で、恒例となった北諫早小学校区社会福祉協議会主催の一人暮らし高齢者の集い「お楽しみ会」を開催しました。

現在、北小校区には75歳以上の一人暮らしの方が268人いらっしゃいます。

当日は、約100人のみなさんが参加。笑顔いっぱいに愉快的ひとときを楽しめました。

午前11時、いよいよ開会。ご来賓の祝辞などに続いて、お茶と昼食をいただきながら、各町からのアトラクションなどにおしゃべりと笑顔がたっぷりの、ひとときです。

健康体操のあと、特別出演として諫早出身で日本一の歌姫「茜つばさ」さんの歌謡ショー。まじかに聞くプロの歌声に、みなさん拍手喝采で大喜び。

今年は、一味違ったお楽しみ会でした。

送迎タクシーやお食事の手配など、事前からお世話いただきました民生委員・児童委員はじめ関係者の皆様ありがとうございました。

北諫早小学校区
社会福祉協議会

会長 堀口春記



健康体操



「祝詞奉上」

（日の出小路ふくのすけ）



福田町「谷牙」



「茜つばさ」
歌謡ショー



日の出町「花の舞」



城見町「春よ来い」

～～ 寄付御礼 ～～

松田和代（福田町）
お楽しみ会の運営などに「金一封」
をご寄付いただきました。
有効に活用させていただきます。
ありがとうございました。

令和7年11月4日

北小校区社会福祉協議会
会長 堀口春記



日の出町いきいきサロンは、
平成21年9月に発足しました。
今年で17年目で登録者数、約50名。



外出機会が少なくなった高齢者が、地域の身近な場所でお互いが気軽に交流できる集いの場所です。

自治会、民生委員・児童委員とボランティアの皆さんが、がっちり手を取り合い協力しながら進めています。

参加することにより、楽しみや生きがいづくり、仲間づくり、健康づくりにもつながることを、目指しています。

＜開催は＞

毎月第2火曜日（8月を除く）

13:30～15:00

日の出町公民館

参加者募集中!!

おたずねは、公民館（22-5488）（尾下まで）

北諫早地区老人クラブ福祉大会

10月28日(火)に諫早文化会館で行われました。

願能良一会長はじめ、約300人集まり、特別公演「日本の歌」コンサート(松尾敏明さん)や、全員参加の「のんこの皿踊り」などに輪を広げ交流を深めていました。



鶺鴒(しつけ)について

NHKの「ダーウィンが来た」をよく見る。

野生動物の真の姿に学ぶところがあるからである。先ごろ鳥の巣立ちが放映された。親鳥はせっせとヒナに餌を運ぶ。しかし巣立ちを迎えると、エサを断つ。

ヒナがどんなに泣いても、エサを与えない。将来自立できないからである。

また、ヘビなどの天敵を遠ざける。

野生動物が持つ本能であろう。

ついダメな「人間の親」と比較してしまった。

人間界では、育てそこなった例をいくつか見てきた。

一人の孫だけを特別に可愛がり、どこに行くにもその孫だけを寵愛した。

溺愛された孫は問題児になり、普通に愛情を受けた孫は優秀な子に育った。

最近、たびたびJRで長崎に行くことがある。

行きはほとんどイスに座れるが、帰りはラッシュと重なり立つ場合がある。

私はだれが見ても高齢者。今までに若者から二度席を譲られたことがある。

いずれも留学生と思われる二人の女性は、私が乗り込むと同時に席を譲ってくれた。

反面、日本の若者はスマホいじりや居眠りの最中なのか、譲る気配がない。

以前、フランスの話聞いたことがある。電車などで子供が座席に座っていると、周囲の大人たちは必ず、立ちなさいと注意をするそうである。

この「他人の子供も、小さい頃から平等にしつけるのが大人の義務」というフランス人の国民性の表れだろうか。

日本でも、分け隔てなく子どもへの躾けを実践・指導すべきと思うが。

井上壽雄（金谷町・長崎新聞文芸欄・川柳選者）